

# 敷島中学校 生徒の皆さんへ

## 中学校からのエール

1 学年副主任 有泉百合香

こんにちは。1 学年副主任の有泉百合香です。1 年生のみなさん、毎日どう過ごしていますか？まだ入学式もしていないし、学校生活も過ごしていないので、敷中生になったという実感が湧かないというのが本音かもしれませんね。先生達もみなさんの名前を見ながら、どんな子たちなのかな？早く会って学校で一緒に色々なことをしたいなと思いをさせています。学習については学年主任の西山先生がとても役立つことを前回書いてくれているので、ぜひそれを参考にしてください。私は英語の先生で自分が洋画好きでもあるので、時間がたくさんある今、みなさんに観てほしい映画を2つ紹介します。

1 つめは Back To The Future (バックトゥーザフューチャー) です。原題をそのまま訳すと「未来に戻れ」といったところでしょうか。タイムマシンで過去に飛んだ主人公が若かりし日の自分の両親と出会い、母親が自分に恋してしまったことから自分が住んでいる未来にゆがみが生じていき・・・というストーリーで35年前に作られたと思えないくらい、今観てもとてもワクワクドキドキする映画です。これまで色々な学校でこの映画を生徒に観させてきましたが、みんな引き込まれて観ていました。

ストーリーがおもしろいのは言うまでもないのですが、タイムマシンという設定も未来や過去の描かれ方も見所いっぱい、Back To The Future 2では、主人公は1985年から未来の世界に飛ぶことになり、30年後、つまり2015年の世界が描かれるのです。(今となっては過去ですが・・・)そこで描かれていた3DやSiriの様に音声認識で作動する家電や自動靴ひも調節機能がついた靴などが、なんと30年後の今では実現されています。人は想像したこと、夢で描いたことをやろうと思えば実現させる力があるのだと言うことに驚かされました。もう一つの見所はThe U.S.Aの世界をたくさん観られるところです。35年前のことなので変わったところもたくさんあると思いますが、高校生が車で登校するとか、卒業パーティー(プロムといいます)が盛大に行われるとか、日本とは違う世界を色々なところで垣間見ることができます。何より私がカルチャーショックを受けたのは、帰宅した主人公がベッドに倒れ込んで寝てしまうシーンがあるのですが、そこで彼は靴を履いたまま寝た！ということです。あり得ないと思いましたが、家の中でも靴を履いているアメリカではこんなことも起こってしまうのですね。ともかく観て損はない、心からおもしろかった！と思える映画なのでぜひ観てください。

2 つ目は Lord of the Ring (ロード オヴ ザ リング) です。ハラハラドキドキの冒険物語で3部全部観ると10時間ほどかかるので、ここで一言ではとても語り尽くせませんが、最後まで全部観たとき、ファンタジーでは終わらない物語の根底に流れる「真の強さとは」いうテーマを深く感じ、長いけれども一度観直したい、と思えるストーリーです。出てくる登場人物が全部個性豊かで、このキャラが好き！というキャラが必ずいると思います。また、演じている俳優たちもものすごく魅力的です。

最後に Lord of the Ring の台詞より。指輪を手にしたことでつらい旅に出なければならなくなり「指輪をもらわなければこんな目にあわなかった・・・」と自分の境遇を嘆く主人公に対しガンダルフ(魔法使いでみんなの心の支え)が語った言葉です。

『つらい目にあったとき誰もがそう思うが、思ったとて今さら変えられない。大事なものは「今何ができるか」だ』



自分を見つめ、成長させる時間にしよう。

2 学年副主任 輿石 美奈子

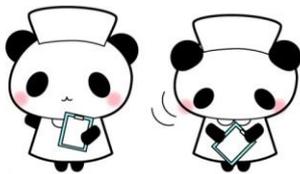
敷島中学校のみなさん初めまして、南アルプス市立白根御勅使中学校から赴任した輿石美奈子です。皆さんが登校する日までに学習環境を美しく整えておくことが、みなさんへのエールになればと思い、絵画室と陶芸室・美術室前の廊下や階段の壁、2年生の給食の配膳台をペンキで塗り替えました。絵画室と陶芸室の流しのシンクも心を込めてピカピカに磨きました。みなさんも自分の机や部屋の中をスッキリ掃除すると、勉強へのやる気が復活すると思いますよ。

家の空間を快適にした後、今できることは何だろうと自分を見つめてはどうでしょうか？自分を成長させる時間にできないか？と考えてみましょう。

美術という教科は、描くモチーフ(対象)を色々な見方からとらえることで、普段では考えない視点・感じ方・イメージを広げ、自分なりの自由な発想や創造力で表現することが可能な教科です。この美術的な考え方で、学校再開までの時間をどのように創造的に過ごすか？と考えると、自分の自由な発想で個々が自分のやりたいことに取り組める大切な時間にできるのです。

例えば、苦手教科の復習をして克服し自信をつける。英語検定や漢字検定の勉強をする。好きな小説家の本を読破する。感想文や小説を書く。絵やイラストを描く。手芸をする。書道やピアノの技術を高める。筋力をつける運動をするなど、家で一人の方が集中できることは沢山あります。もしかして、この間に熱中したことが、将来の職業に繋がるかもしれません。大人よりも柔軟な考えができる若いみなさんの発想力と実行力に期待し、熱いエールを送ります。

新しい美術の教科書からも日本と西洋の文化の違いなど新たな学びが得られます。世界中の美術作品を鑑賞しておき、大人になったら本物と出会う旅に出かける夢をイメージするのも素敵だと思いませんか？



3 年 副主任 今野嘉昭

4月より敷島中学校に赴任した今野嘉昭(このよしあき)です。同じ甲斐市内の竜王中学校から来ました。3学年副主任・進路指導主事を務め、3年生の保健体育を担当します。1年間よろしくお願いします。まだ生徒の皆さんと顔を合わせていないので、敷島中の仲間入りができなかった感じがせず、モヤモヤ感があるままここまで過ごしています。登校した皆さんの様子を見ていて、本当に待ち遠しいです。

まだまだ先行き不安な毎日ですが、時間を無駄にせず過ごしたいですね。できることはいろいろとありそうです。勉強も、自主トレも、読書も、映画鑑賞も、YouTubeで検索して知識や情報を増やしたり、たまにはゲームで息抜きしたり(たまにですよ!)、家の手伝いもしてますか？我が家は家族全員で掃除や庭の手入れなどをやってみました。

こんな時でも何かを学ぶとしたら、時間の使い方、そして、自分自身をコントロールすること。きっと皆さんのパワーアップにつながるはずです。しっかりと充電して『必ず戻ってくる日常』につながる時間の使い方をしていきましょう。

皆さんと会える日を楽しみにしています! c h a o!!